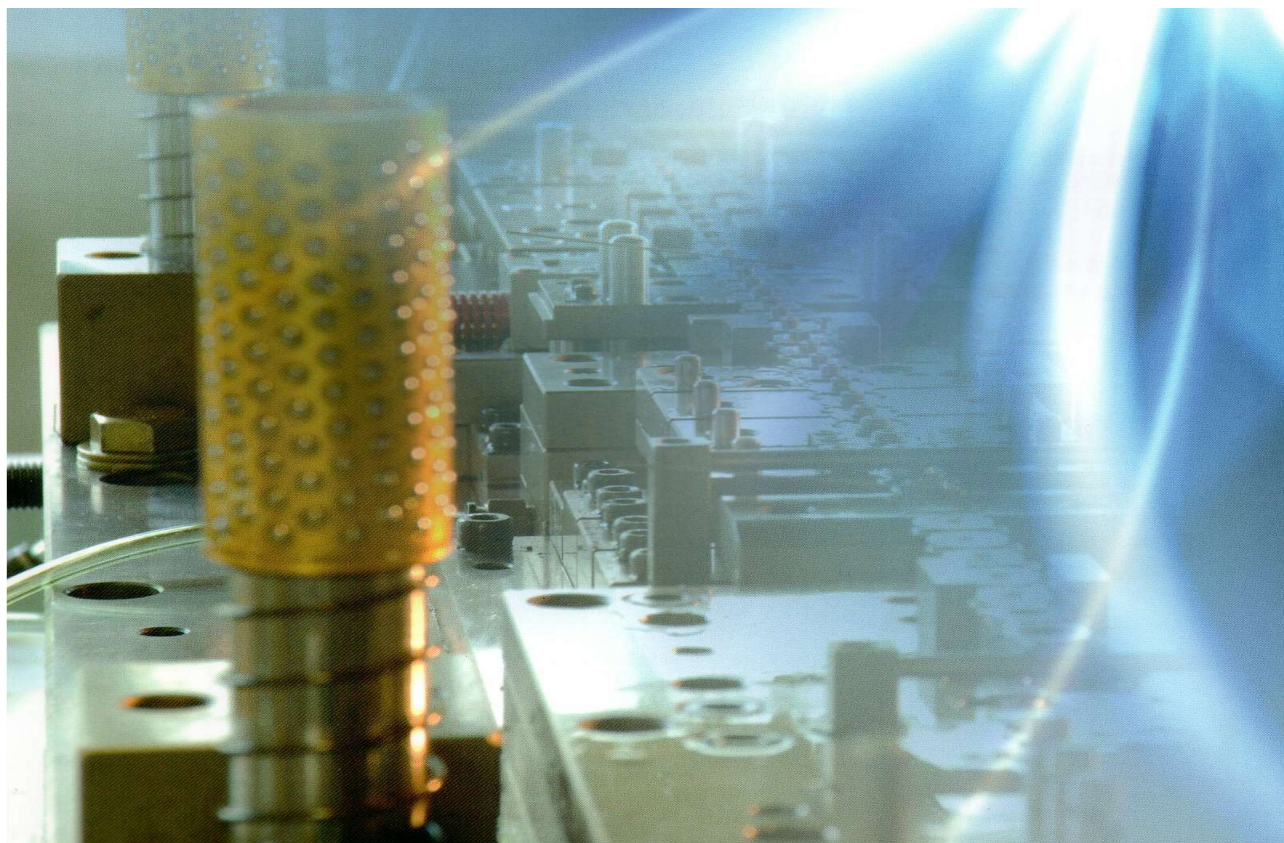


2018年4月～2019年3月
環境経営レポート



2019年 5月 28日

長野県諏訪市中洲4600番地17

株式会社 長野サンコー



はじめに

当社は、2004年11月19日【環境方針】を掲げ、そして2006年4月1日に【環境マニュアル】を作成し、環境マネジメントシステムを立ち上げました。当社では、毎年4月から翌年の3月までをひとつの区切りとしています。

今回は2018年4月から2019年3月までの環境活動レポートとなっております。

1. 事業活動の概要と環境活動実施体制

1-1.事業所名

株式会社 長野サンコー

1-2.所在地

本社・ぎんなん通り工場：長野県諏訪市中洲4600番地17

やなぎ通り工場：長野県諏訪市中洲4771番地

1-3.環境保全関係の責任者及び担当者

経営者：代表取締役 宮坂 宏幸

環境管理責任者：取締役部長 守屋 貴司

事務局：総務課 宮坂 高穂

1-4.連絡先

TEL：0266-52-2432

FAX：0266-58-1882

E-mail：info@naganosankoh.jp

1-5.認証・登録対象範囲：全組織・全活動

1-6.事業活動

金属精密プレス金型の設計・開発及び製造、
自動車用及び一般用精密プレス部品の製造
関連事業所

：本社・ぎんなん通り工場

：やなぎ通り工場

1-7.事業規模

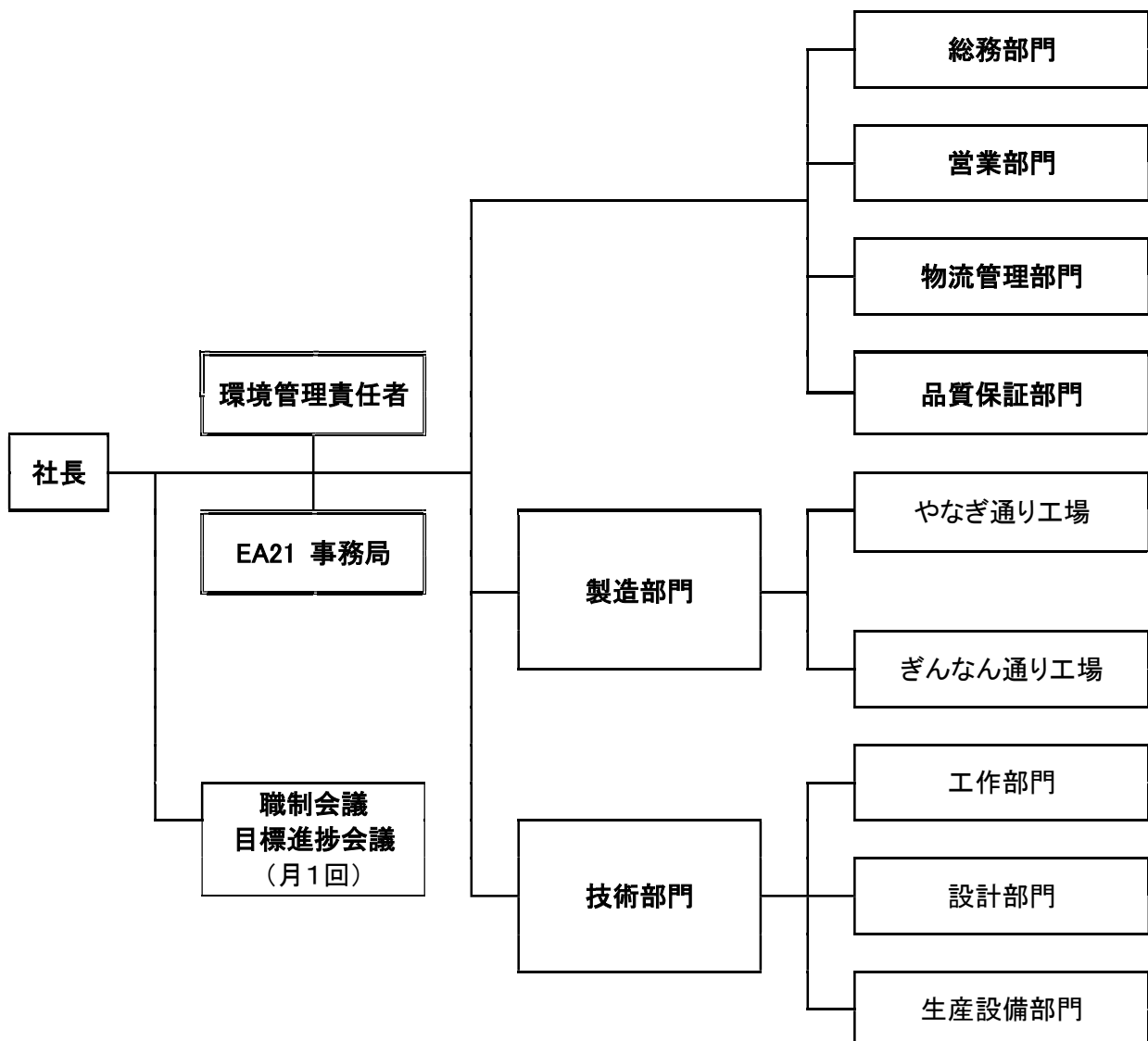
製品売上高：8億円

従業員：60名

延床面積：5,943 m²（本社工場、ぎんなん通り工場 1875m²、やなぎ通り工場4068m²）

敷地面積：7,371 m²（本社工場、ぎんなん通り工場3334m²、やなぎ通り工場4037m²）

1-8 環境活動実施体制



2. 環境経営方針

制定日:2004. 11. 19 改定日:2018. 12. 20

＝理念＝

株式会社長野サンコーは環境経営に対する取り組みが重要であることを認識し、環境の保全に配慮し、各種プレス部品の製造及び金型の設計製作を業とする事業活動のあらゆる面で社会に貢献します。

＝基本方針＝

- 1) 省エネルギー・省資源・リサイクル・産業廃棄物の削減を積極的に推進し、環境保全の向上に努めます。
- 2) 環境経営体制を整備し、継続的な改善と法規制の遵守と共に、環境汚染の予防と顧客要求を満たすように努めます。
- 3) 環境経営目標を定め、定期的に見直し、環境管理活動の継続的向上に努めます。
- 4) 環境の美化を行ない地域社会との共存に努めます。
- 5) 環境に対する知識、技術のアップに努めます。
- 6) 設備導入は省エネを考慮し、また業務効率を改善し、加工技術で社会に貢献します。
- 7) この方針は全従業員に周知徹底し、その実施および達成に努めます。

～この環境経営方針は要求により社外に公表します。～

株式会社 長野サンコー 代表取締役社長 宮坂宏幸

3. 環境経営目標と実施計画

以下の活動を年間を通して継続的に実施する

2018 年度目標	実 施 項 目
1. 業務改善と労災防止	① 社内 2S/3S 活動の推進 ・各職場にて 2S/3S 活動を実施 ・毎月社内パトロールを実施し、指摘事項の改善状況をフォローする ② 安全活動を推進し、労災0を目指す ・毎月の安全衛生委員会にて懸念事項への対応を話し合い、対策の実施及び進捗状況の確認を行う ・毎月社内パトロールを実施し、指摘事項の改善状況をフォローする ③ 残業時間の削減 ・職場毎、月単位の残業時間目標を設定する （個人は月45時間未満） ・毎週職場単位及び個人別の残業実施状況を確認し、その結果をまとめたデータを全社管理者に配信し、情報の共有を行う ・残業が多い職場の管理者に状況を確認し、対応策を全社で協議する ・ノー残業デーの実施
2. CO ₂ 排出削減	① 電力 月間電力生産効率目標値:934 [kwh/10 万個] （生産数量月間 1200 万個以上にて） ・空調機の設定温度管理、不要なときは消す ・エア配管からの空気漏れがないか監視 ② 灯油 ・灯油使用機器購入時には燃料効率の良い製品を選択する ・作業現場での防寒作業着着用推奨 ・空調機の設定温度管理、不要なときは消す ③ 軽油、ガソリン ・車両ごとの燃費監視 ・エコドライブの継続 ・車両発進時に「ふんわりアクセル」を心がける
3. 排水量削減	月々の使用量に異常値がないか監視
4. グリーン調達活動	・現状体制が維持管理されているか監視 ・法令、顧客調達基準に新たな項目が追加されれば、その対応

4. 取り組み状況の確認・評価

1) 実施項目別評価

活 動 項 目	実施内容と評価
業務改善と労災防止	社内 2S/3S 活動の推進 毎月1回のパトロールを実施済。 全社で合計137件の指摘事項中(安全に関する指摘事項含む)、118件是正済。再発防止と定着化のためのフォローアップを実施中。 来年度はさらに高いレベルを目指して、パトロール・是正活動を展開する 安全活動を推進し、労災0を目指す 残念ながら、期間内に1件の休業災害が発生してしまった。作業時のケガではないが(工場歩行中に足を痛めた)、再発防止のための活動を展開する。 毎月1回のパトロールについては上記の通り。 残業時間の削減 個人レベルでは月の残業時間が45時間を超えたことのある長時間労働は以前と比べかなり減少している。 しかしながら、全社での残業・休出合計時間は前年比1.2%減に留まっている。生産数量は前年比32%増のため、いちがいに単純比較はできないが、来年度は全社の残業時間が削減されていくような改善を行っていきたい。
CO ₂ 排出削減	電力 ・2018年4月～2019年3月までのすべての月で、生産効率 934kwh/10万個を達成した。生産数量の増加(前年比32%増)が効率アップに貢献している。 ・以前から導入を検討していた太陽光発電をやなぎ通り工場に導入し(自家消費型)、2019年2月から発電を開始した。 太陽の光がよく当たる工場の屋根に設置したため、夏場に工場の屋根が熱せられることによる輻射熱による室内温度上昇を抑える(＝冷房に使用する電気の節約)2次的効果も期待できる。 灯油 2018年の灯油使用量は 16,354 リットルと、2017年の 20,753 リットルと比較し、21%減少した。暖冬の影響もあるが、温度管理の徹底、不要な場所のストーブは消す等、ストーブ使用の効率的な運用が定着したことも要因としてあげられる。 軽油・ガソリン 2018年度の軽油、ガソリン使用量は2017年度と比較し、横ばい状態。各車両の燃費に変動がないか、運転者により燃費に大きな差がないか継続確認中。燃費データは良好で、エコドライブが定着している。
水使用量削減	2018年12月の本社水道使用量が、通常の10倍に急上昇した。原因は普段使用していないぎんなん通り工場内の女子トイレからの漏水

	(常に流れっぱなしになっていた)。2017年の12月にも本社温水器の不具合による漏水が発生したため、急に気温が下降するこの時期は水回りの管理に十分注意したい。それ以外は例年通りの結果だった。
グリーン調達活動	・製品の汚染等の不具合なし ・RoHS2への対応について、材料、副資材ともに対応していることを確認済み ・顧客のグリーン調達調査への協力

2) 環境への負荷の自己チェック状況の評価

* 2018年の購入電力の排出係数は、中部電力 2018年度の係数 0.476(kg-CO₂/kWh)を使用しております。

項目		環境への負荷	単位	2018年
エネルギー使用量	電力	二酸化炭素	Kg-CO ₂	740,697
	ガソリン			11,277
	軽油			15,953
	灯油			40,721
廃棄物排出量	産業廃棄物	排出量	kg	9,443
		うち再資源化量	kg	1,650
		最終処分(埋立)量	kg	6,903
総排水量	上水		m ₃	686
	工業用水		m ₃	0
	地下水		m ₃	0

3) 環境への取組の自己チェックと評価

取り組み施策	評価点	満点数	取組実施度合
1.事業活動へのインプットに関する項目			
1)省エネルギー	108	118	91.5%
2)省資源	44	50	88%
3)水の効率的利用及び日常的な節水	10	14	71.4%
4)化学物質使用量の抑制及び管理	7	8	87.5%
小 計	169	190	88.9%
2.事業活動へのアウトプットに関する項目			
1)温室効果ガスの排出抑制、大気汚染等の防止	8	14	57.1%
2)廃棄物等の排出抑制、リサイクル、適正処理	68	84	81%

危険物	・指定数量の 1/5 以上、指定数量未満は少量危険物の届出 ・貯蔵場所には法定の表示板の取付	○	必要な物には少量危険物の届け 貯蔵場所には法定の表示板設置
SOC	・顧客が要求する環境影響物質 (RoHS 指令等)	○	依頼に対し、すべて報告が完了されている。 報告内容は適切。

6. 緊急事態の特定、準備、訓練、通報

No.	緊急事態と影響の内容	主な対応方法
1	油の漏洩	・油吸着マット等で吸い取る ・油が拡散しないようにオイルマット・フェンス等でおおう ・水路にあふれた油を吸着する
2	一般火災	・防災・通報連絡・非常持出・避難誘導の各係を工場ごとに決める ・消火器により初期消火をする ・各係は火災時分担行動をとる
3	洗浄機火災	温度センサーが感知した場合 ・警報ベルが鳴り、5～10秒後に自動消火装置から二酸化炭素が約30秒間噴出される。すぐに外へ避難する。消火後復旧スイッチを押すと警報ベルを止める事ができる。 火災が発生しても警報ベルが鳴らない場合 ・自動消火装置収納箱扉の亚克力板を押し破って手動消火押ボタンを押す。警報ベルが鳴り、5～10秒後に自動消火装置から二酸化炭素が約30秒間噴出される。外へ避難する。消火後復旧スイッチを押すと警報ベルを止める事ができる。
4	地震	・逃げる ・火を消す ・電気を切る
5	水害	・人命や安全に対する対応を第1優先に対応し、物品の移動は余裕があれば行う。 ・時間・機材等の制限から、高いところに上げる物品の優先順位を決める。
6	定期テスト	・消火訓練・避難訓練等年1回実施 ・その他は年初に決定
7	事故時、緊急時の通報・報告と連絡先 事故により、洗浄液又は油を公	地方事務所

	共水域へ流した場合及び地下に浸透した場合の届け 事故により、洗浄液又は油を下水道に流した場合の届け 灯油、油類の流出等の事故が発生した場合の通報	終末処理場担当課(公共下水道管理者) 消防署
--	--	-------------------------------

7. 環境教育の計画と実施

No.	教育訓練名称	対象者 実施日	講師	内容
1	新入社員教育	新規採用社員 2018/04/01～	事務局 宮坂	我が社が取組む EA 2 1
2	緊急事態訓練	全社員 2019/3	事務局 宮坂	緊急事態訓練 火災時の対応実地訓練

8. 代表者による評価の実施

弊社エコアクション21への取組みが2017年度版に切り替わったことに伴い、経営者による取組みの見直しは MR 会議から、月1回の目標進捗会議での逐次指示に変わりました。

是正・予防処置の指示	責任者	期限
3S・安全対策の推進 ・3S をさらに推進し、業務効率の継続的向上を図ること ・安全対策を推進(ソフト面・ハード面)し労災0を達成する(事例:KYT を定期的に実施し、作業員による危険感受性を共通認識とする) 残業時間の削減 全社の残業時間を月650時間以下に削減すること 電力の削減 太陽光発電の導入による購入電力量の削減、データおよび現場確認によりエアー漏れ等、ムダに電力が使用されていないか点検すること。 すでに定着していることは月1回のデータ確認等で監視を継続すること。	安全衛生委員 事務局 各職場管理者 管理の主管は 総務課 EA21 事務局 各 GL	2019年度 毎月の目標進捗会議で進捗状況を報告、代表者が評価、指示を行う。

9. その他

太陽光発電の導入

弊社やなぎ通り工場の屋根に太陽光パネルを取り付け、自家消費型発電を2019年2月より開始しました。

システム総容量:	57.6kW
認定出力:	37.125kW
年間発電量:	67,222kWh
年間原油換算削減量	17,276 [L]
二酸化炭素排出削減効果:	年間 38,922kg-CO ₂

やなぎ通り 1工場屋根



やなぎ通り 5工場屋根



昨年度導入した水銀灯代替えのLED灯と合わせ、二酸化炭素排出削減に期待しています。

社員のみなさん御協力どうもありがとうございました。またこの環境活動レポートをご覧になった皆さま方からは貴重な御意見をお寄せいただけたら幸いです。

連絡先：(株)長野サンコー エコアクション21 事務局 宮坂高穂
電話0266-52-2432